
俺が君で君が俺！？

星雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺が君で君が俺！？

【コード】

N1310G

【作者名】

星雲

【あらすじ】

獄寺とツナが入れかわっちゃっ話し

s i d e ツナ (前書き)

ツナ
山
獄

sideツナ

俺の目の前には何故か俺がいる。

正確には俺が獄寺くん、で獄寺くんが俺…。

……。

どうせなら山本と体交換したかったな…

そう…俺は山本が好き…。

でも山本はすっごくモテるし…俺なんて…

「俺が十代目の体なんて！恐れ多い！！
今日は外出られませんか！もしこの体にもしもの事があつたら！」

あんなこと言ってる…。

昨日、獄寺くんが家に泊まった。

ピアノキ見て気絶して起きたのが12時過ぎだったから…

山本ならどんなに良かったか…

んで俺が階段から滑って落ちて…ちょうど下に獄寺くんがいて

ごっつんと…

で、体が入れ替わってたって訳

今日は山本と約束があった…

久しぶりに2人だけだったから凄い嬉しかったのに…

こんな姿じゃ…

「獄寺くん、お願いだから俺の体で山本に暴言吐かないでね？」

「……………？はいつ！」

一瞬不思議そうな顔をした獄寺くん（姿は俺）

まあいい…

ホントは山本に事情を話た方が早いんだけど…心配かけたくないし…
…なによりチャンスだ…

山本に獄寺くんを嫌わせる！

山本は仲良くしたいみたいで獄寺くんに話し掛けてるみたいだけど…
もうそんな事しないようにね…仲悪くするんだ…！

ピンポン…

来た！

「ツナー…？」

ああそうか…今日は母さん達いないんだ…

より都合がいい…。

「あがるなあー？」

「チツ 野球馬鹿がつ！」

「獄寺くん、いや、十代目？」

山本の前で暴言はNGですからね…?」

わざとらしく獄寺くんの真似をする…

「……………分かってます……………」

「おっす！あれ獄寺も居るのな！」

「……………」

「十代目…?」

ああ獄寺くんなんて言えばいいか分からないんだ…

このまま居させたらバレちゃいそお…

「獄寺くん…飲み物買ってきてくんない…」（小声）

「え…?あ、はい…分かりました…」

「なるべく時間掛けてね？そおだな…3時間くらい」

「……………」

自分が邪魔なのだと自覚した獄寺くん（姿は俺）が出ていった

「ツナ……？」

「十代目はなんか用事があるみたいだ…」

「……？へえ…」

もう少し心配してほしいな…

ここからは俺（姿は獄寺くん）が頑張って山本に嫌われるようにするだけ…

7

「ちっ！なんで俺がこんな野球馬鹿と2人きりで…！」

「……？まあまあいいじゃねえか…慣れっこだろ…？2人きりなんて…」

！？

どういう意味…？

よく2人きりで居るってこと？

「ツナ待ってる時とかよ…?」

「あ、ああそおだな…」

びっくりした…

こんなんじゃない駄目だ!

もっと酷いこと言わなくちゃ!!

side 山本

獄寺の様子がおかしい…

なんか…そわそわしてる…

可愛いな…

俺は獄寺が好きだ…なのに獄寺はツナ、ツナって…

今日はツナと2人の予定だったけど今は獄寺と2人きり…

ツナにはわりいけど正直めちゃくちゃ嬉しい…

「なあ獄寺…ヒマじゃねえ？」

ベツトを背もたれにして並んで座ってた獄寺の肩にもたれ掛かる…

一瞬体をびくつかせた…

顔を見たら真っ赤だ…

ちよっ!?

今日の獄寺マジ可愛い!!

調子乗っていいかな…

「なあ〜獄寺〜なんで無視すんの〜…?」

そお言つて顔をこれでもかっつけてくらい近づけた…

目えすげえ泳いでる…

可愛いな…

キスしたい…

でも付き合ってる訳じゃねえし…

びっくりするよな…

でも…こんな顔真っ赤ってことは…

俺今すげえ都合のいいよおに考えてるけどいいのか…？

「獄寺……好き……」

「！？」

「ツナばっか見てないで俺見て？」

なんか今悲しそうな顔した？

！？

なななな泣いた！？

え、え、？やべえ！どおしよー！いくらなんでも急すぎたよなっ

でも可愛いと思ってしまつのは獄寺には
まりまくってるせいか…

「山、本……」

どきーんっっ!!

あんま名前……つか苗字で呼ばれないから嬉しい……

いつもは野球馬鹿とか、おいっとかだし……

「……………ぐすっ……………俺……………」

「獄寺……………」

ふらっ

獄寺が倒れた……………!?

「ちよっ獄寺!?!」

「ん……………野球馬鹿……………」

「……………?」

わけが分からない…

「んあつ？なんで俺泣いてんだ…？…てめえ十代目になにしやが
つた！！！」

…？

獄寺…言ってることがわけ分かんねえ…

んで獄寺に事情話された…

さっきまでの事言ったら顔赤くして殴られた…

可愛い…

+++++

どうやら元に戻ったみたい…

山本、獄寺くんが好きだったんだ…

涙とまんないや…

翌日、山本に凄く謝られた…

END

s i d e 山本(後書き)

なんか途中からめんどくさくなってるし…

すいません)´、(;

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1310g/>

俺が君で君が俺！？

2010年10月9日19時17分発行